

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 12 巻第 18 号

第 18 週(4月30日～ 5月 6日)

発行年月日:平成24年(2012年) 5月10日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

◆ 感染症発生動向調査におけるウイルス病原体情報

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第18週)

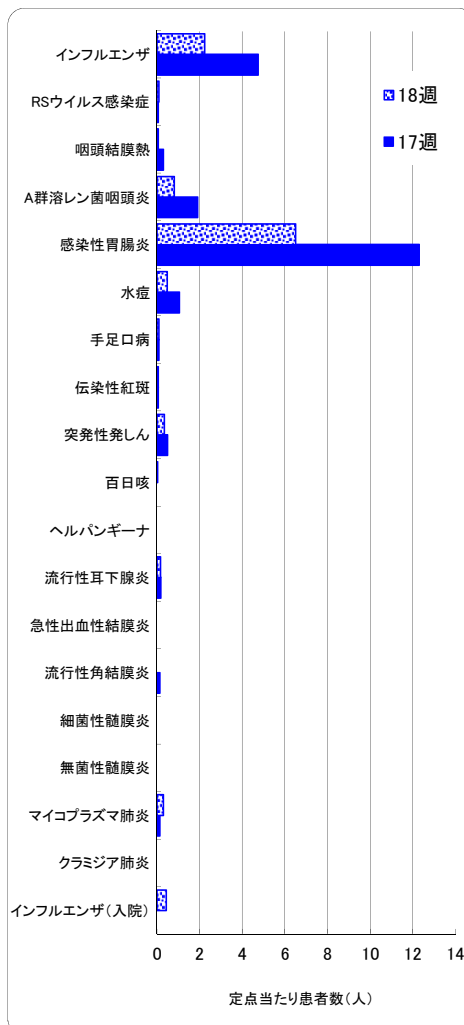
- ・一類感染症――報告はありません
- ・二類感染症――**結核 2名**
- ・三類感染症――報告はありません
- ・四類感染症――報告はありません
- ・五類感染症――**後天性免疫不全症候群 2名**(病型:AIDS、年齢:34歳、62歳)

★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

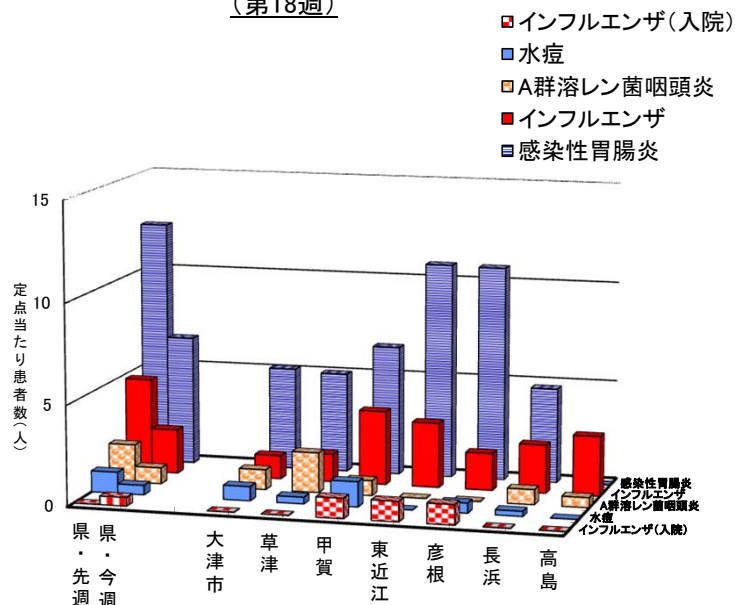
下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(782名)より半減し、今週は399名となっています。4月30日から5月6日の間、多くの医療機関が休診となったことが影響していると思われます(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザ入院サーベイランスでは、インフルエンザの入院患者 3名の届出がありました。保健所管内別では甲賀 1名、東近江 1名および彦根 1名です。性別は 3名とも男性で、年齢は 1歳、6歳、9歳です。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内については、医療機関における長期休診時と重なるため、今週は対象外となっています(感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システムによる情報提供要領に基づきます)。



上位疾患の保健所管内別発生状況 (第18週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①感染性胃腸炎、②インフルエンザ、③A群溶レン菌咽頭炎、④水痘、⑤インフルエンザ(入院)の順に多くなっています。

感染性胃腸炎――東近江および彦根でやや多くなっています。
インフルエンザ(入院)――先週より多くなっています。

1. 全数報告感染症（一類～五類）の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成24年 累積報告数		平成23年 累積報告数 ^(※1)		平成22年 累積報告数 ^(※2)	
		滋賀 (18週)	全 国 ^(※3) (17週注)	滋賀	全 国 ^(※3)	滋賀	全 国 ^(※3)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	91	8,961	338 ^(※4)	31,467	251	26,866
三類感染症	コレラ	0	1	0	12	0	11
	細菌性赤痢	0	81	5	299	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	3	226	71	3,938	66	4,134
	パラチフス	0	9	0	23	1	21
四類感染症	E型肝炎	0	51	0	61	0	66
	A型肝炎	0	51	0	176	3	347
	オウム病	0	1	0	13	1	11
	つつが虫病	1	65	1	461	2	407
	デング熱	0	44	1	104	2	244
	マラリア	1	19	0	78	0	73
	レジオネラ症	2	192	12	819	10	751
五類感染症	アメーバ赤痢	5	258	2	814	7	843
	ウイルス性肝炎	0	68	1	249	3	221
	急性脳炎	3	168	1	259	0	242
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	51	2	136	2	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	97	2	198	3	122
	後天性免疫不全症候群	2	398	6	1,523	1	1,553
	ジアルジア症	0	14	1	68	1	77
	梅毒	0	251	6	827	9	621
	破傷風	0	27	1	114	0	106
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	25	0	73	2	120
	風しん	2	144	2	374	5	87
	麻しん	2	110	1	443	1	447
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	1	9	37	0	59

注：18週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報（SIDR）に掲載します。

※1：感染症発生動向調査事業年報暫定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在）。

※2：感染症発生動向調査事業年報確定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月）。

※3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています（国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照）。

※4：平成23年分として、第14週に追加報告が1件ありました。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関（定点）といい、その定点から報告される感染症です。
また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
（患者報告数＝定点当たり患者数×定点数）

(1) 疾病別・週別発生状況（平成24年第13週～18週、3/26～5/6）

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数（↑前週より増加 →前週と同じ ↓前週より減少）										
			13週	14週	15週	16週	17週	18週	週				
			3/26～	4/2～	4/9～	4/16～	4/23～	4/30～	14	15	16	17	18
インフルエンザ	53	インフルエンザ	9.62	6.19	5.38	5.32	4.75	2.23	↓	↓	↓	↓	↓
小児科	32	RSウイルス感染症	0.16	0.16	0.06	0.13	0.06	0.09	→	↓	↑	↓	↑
		咽頭結膜熱（プール熱）	0.22	0.16	0.19	0.09	0.31	0.06	↓	↑	↓	↑	↓
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.91	1.47	1.59	1.94	1.91	0.81	↓	↑	↑	↓	↓
		感染性胃腸炎	6.97	6.50	9.06	9.59	12.31	6.50	↓	↑	↑	↑	↓
		水痘	1.13	1.00	0.66	0.72	1.06	0.47	↓	↓	↑	↑	↓
		手足口病	0.28	0.16	0.38	0.16	0.09	0.09	↓	↑	↓	↓	→
		伝染性紅斑（リンゴ病）	0.03	0	0.03	0.03	0.06	0.06	↓	↑	→	↑	→
		突発性発しん	0.56	0.44	0.50	0.84	0.50	0.34	↓	↑	↑	↓	↓
		百日咳	0	0.03	0	0	0	0.03	↑	↓	→	→	↑
		ヘルパンギーナ	0	0	0.03	0.03	0	0	→	↑	→	↓	→
眼科	8	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.31	0.25	0.34	0.06	0.19	0.16	↓	↑	↓	↑	↓
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
基幹	7	流行性角結膜炎	0.13	0.25	0	0	0.13	0	↑	↓	→	↑	↓
		細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0.29	0.43	0.14	0.29	↑	↑	↑	↓	↑
		クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
インフルエンザ（入院）*		インフルエンザ（入院）*	0.86	0.57	0.14	0.57	0	0.43	↓	↓	↑	↓	↑

※：平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数（定点当たり患者数）を掲載

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第18週、4/30～5/6)

疾 患 名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)		
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	2.23	1.18	1.40	3.71	3.25	1.86	2.43	3.00			
RSウイルス感染症	0.09	0.14	0.17	0	0.20	0	0	0			
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0	0	0	0.40	0	0	0			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	1.00	2.00	0.75	0	0	0.75	0.50			
感染性胃腸炎	6.50	5.14	5.00	6.50	10.80	10.75	4.75	0			
水痘	0.47	0.71	0.33	1.25	0	0.50	0.25	0			
手足口病	0.09	0.14	0.33	0	0	0	0	0			
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0			
突発性発しん	0.34	1.14	0.17	0	0.40	0	0	0			
百日咳	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0			
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0.29	0	0	0.40	0	0.25	0			
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
マイコプラズマ肺炎	0.29	2.00	0	0	0	0	0	0			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
インフルエンザ(入院)	0.43	0	0	1.00	1.00	1.00	0	0			

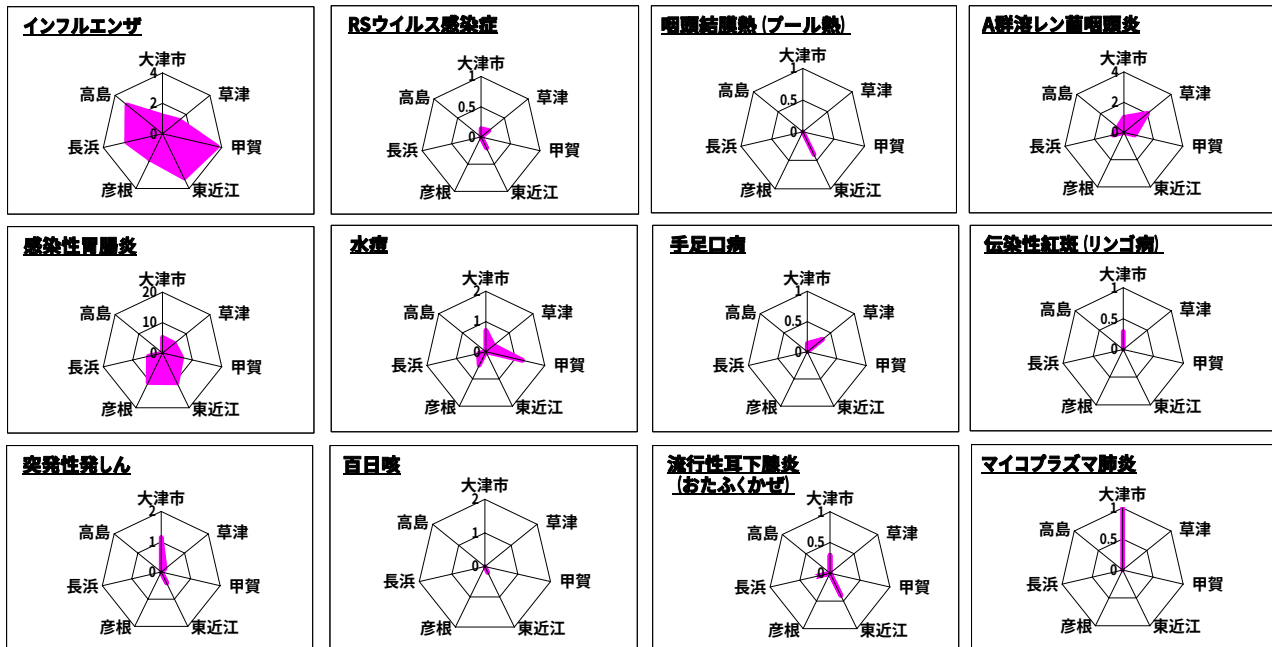


赤・太字は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

青・太字は注意報発生基準値を超えています。

0 2 4 6 8
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

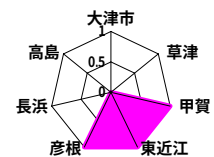
<RSウイルス感染症>

先週よりやや多くなり、大津市、草津および東近江保健所管内から報告されています。

<マイコプラズマ肺炎>

先週よりやや多くなり、大津市保健所管内から報告されています。

インフルエンザ(入院)



感染症発生動向調査における病原体情報

(滋賀県ウイルス検出情報より抜粋)

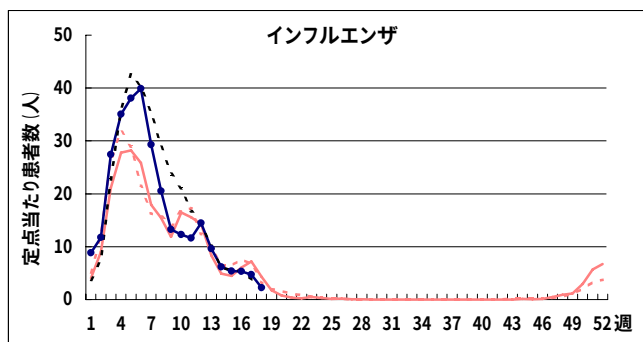
疾患名	検出されたウイルス型	ウイルス検出 合計数	検体採取月		
			1月	2月	3月
感染性胃腸炎	ノロウイルスGⅡ	8	5	3	0
	A群ロタウイルス	1	0	0	1
	ノロウイルスGⅡ、エコーウイルス9型	1	1	0	0
	ノロウイルスGⅡ、ライノウイルス	3	3	0	0
	ライノウイルス	1	0	1	0
手足口病	コクサッキーウイルスA16型	4	2	2	0

左記の表に示した疾患以外の病原体情報

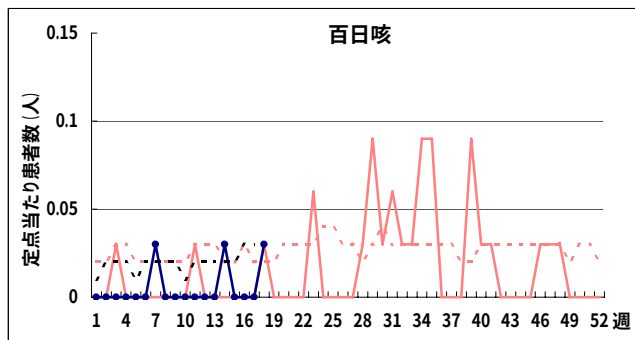
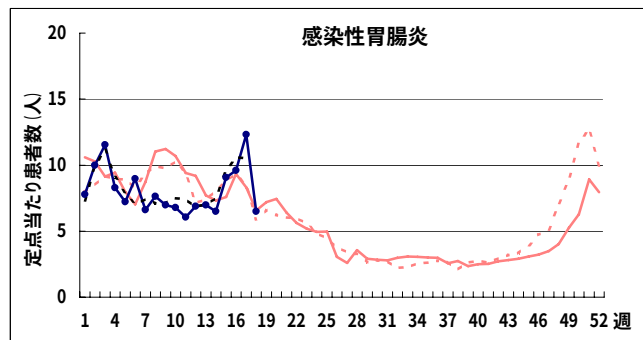
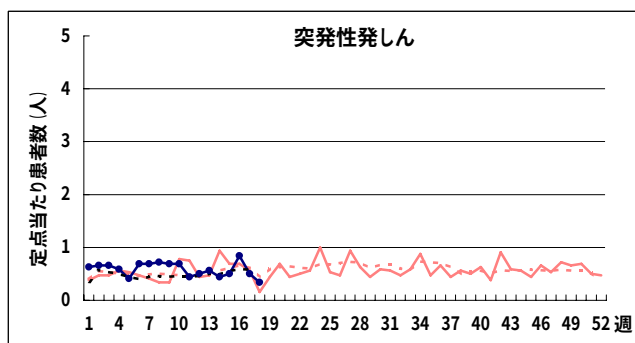
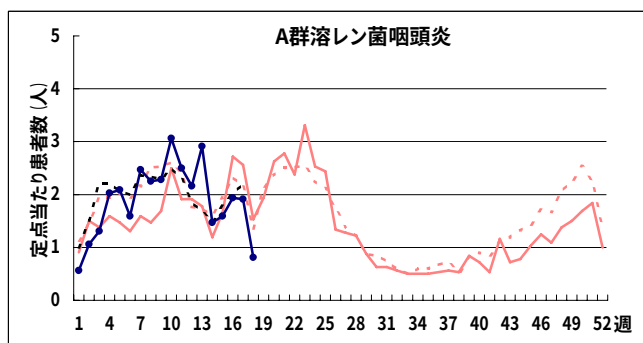
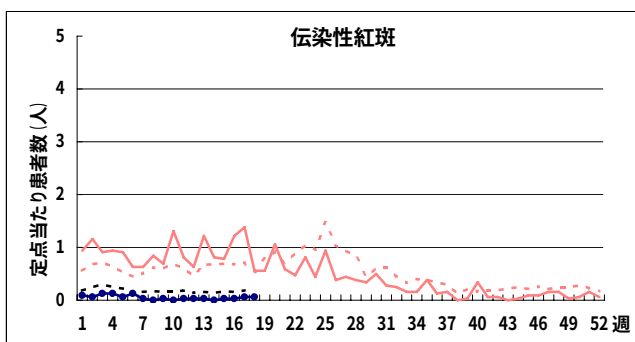
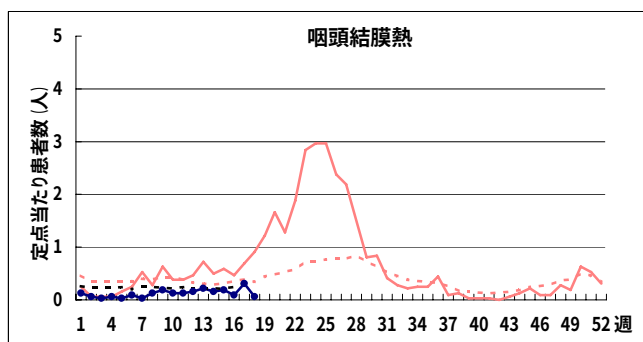
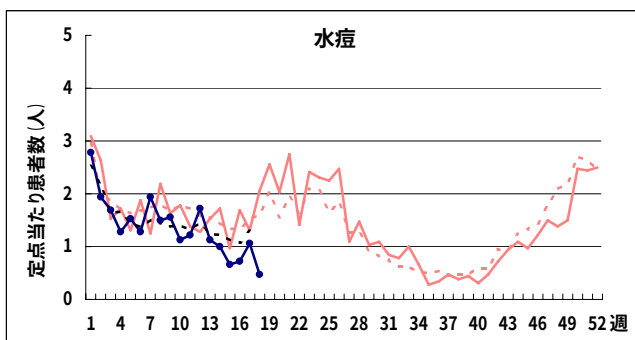
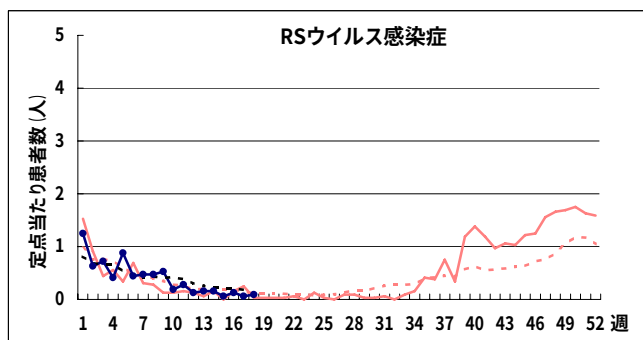
疾患名	検出された ウイルス型	ウイルス 検出 合計数	検体採取月		
			1月	2月	3月
上気道炎	エコーウイルス7型	1	1	0	0
	RSウイルス	1	1	0	0
	ノロウイルスGⅡ	2	1	0	1
	ノロウイルスGⅡ、 ライノウイルス	1	0	1	0
下気道炎	ライノウイルス	4	4	0	0
下痢・嘔吐症	ノロウイルスGⅡ	2	2	0	0
けいれん	ライノウイルス	1	1	0	0

*滋賀県ウイルス検出情報の詳細については、滋賀県感染症情報センターのホームページの
ウイルス検出情報 (http://www.pref.shiga.jp/e/ef45/kansen-c/byougentai_jyouchou.html)
に掲載しています。

疾病別定点当たり患者数 (平成24年第 18 週、H24.1.2～H24.5.6)



H23 { 滋賀 ————
全国
H24 { 滋賀 ————
全国
全国



疾病別定点当たり患者数 (平成24年第18週、H24.1.2～H24.5.6)

H23 〔 滋賀 全国 〕 H24 〔 滋賀 全国 〕

